



生まれ育った家庭や環境に関わらず、
だれもがしあわせに生きていける社会へ

特定非営利活動法人 Chance For All

2023年度 年次報告書

Annual Report 2023-2024



2023年度活動のお礼とごあいさつ

CFAを立ち上げて10年。はじめて学童を開いた時に小学校一年生で入ってきた子たちは高校生となり、学生チームでボランティアメンバーとして活躍している子もいます。そして、2023年度はこれまで行ってきた事業に加えて「感情図書館事業」「パークリーダー事業」と二つの事業が立ち上がりました。

感情図書館は、読書分類が「本が好きな人」や「図書館の運営」にとっては優れているものの、これから本を好きになるであろう子どもたちにとっては難解であることに着目し「友達と喧嘩した時に読む」「将来が不安な時に読む」「ワクワクした気持ちになりたい時に読む」など感情の動きに着目して図書を分類する取り組みです。

そしてパークリーダーは、いつもの近所の公園に大学生のお兄さん、お姉さんがいることで、公園を再び子どもたちの笑い声あふれる安心して自由に遊べる場所にしていこうという取り組みです。

いずれも無料で誰でも参加できる「Chance For All」な取り組みです。

生まれ育った家庭や環境に関わらず、だれもがしあわせに生きていける社会の実現に向けて、これからもチャレンジングな取り組みを続けていきますので、みなさんもぜひ一緒に挑戦する仲間になってください。

特定非営利活動法人Chance For All
代表理事 中山勇魚



Highlight of 2023

2023年度ハイライト!

Highlight 1

CFAは10周年を迎えました!

2023年11月11日、夜の浅草花やしきを貸し切って、CFA10周年パーティーを開催しました! これまでCFAに関わってくださった方々とともに、特別な時間を過ごせたことを、心から嬉しく思っています。CFAKidsに通う子どもたちだけでなく、卒業生もたくさん参加してくれ、懐かしい顔が集う温かい時間でした。

これからも子どもたちや地域にとってよりよい活動になるよう励んでまいります。

みんなに聞いた

10周年を機にCFAに関わるさまざまな方にお聞きしました。その回答の一部をご紹介します!

CFAとは?

- 「わたしにとってさいごうなばしょ」(CFAKidsの子ども)
- 「みんなで笑い合える場所」(CFAKidsの子ども)
- 「いろいろな子と出会え楽しく遊べる場所」(CFAKids卒業生)
- 「素の自分でいられる場所」(駄菓子屋irodoriに来ていた子ども)
- 「第二の我が家」(保護者)
- 「いつも我が子のいいところを見つけてくれる」(保護者)
- 「CFAができて街が元気になりました!」(地域の方)
- 「こういう活動のある街で子育てができて幸せ」(地域の方)
- 「子どもたちの未来をつなげる場所」(地域の方)
- 「自分の好きなことができる場所」(あそび大学に参加していた子ども)
- 「あそびの実験場」(あそび大学運営メンバー)
- 「我が人生」(CFA学生チームメンバー)
- 「やりたいことに挑戦できる場所」(CFA学生チームメンバー)
- 「子どもたちのために本気になれる仲間」(CFA職員)

Highlight 2

理念・ロゴ・サイトをリニューアルしました!!

理念

CFA設立から10年の間に、社会も子どもを取り巻く環境も大きく変化してきました。そんな中で、私たちは「生まれ育った家庭や環境でその後の人生が左右されない社会の実現」という理念をもう一度見直すことにしました。みんなで何回も集まって話し合い、私たちが目指す姿について考え、決めた理念が「生まれ育った家庭や環境にかかわらず、だれもがしあわせに生きていける社会の実現」です。子どもたちは生まれた家や育った環境に人生が大きく左右されます。でもその上で、一人ひとりが幸せに生きていけることのできる社会にしていきたい。これからもCFAは、子どもたちの放課後の居場所、あそび場を通して、この新たな理念の実現に向けてまっすぐ進んでいきます。



ロゴ



CFAの新しいロゴはコチラ! 多様な人たちがそれぞれの人生を楽しんでいる「自分の人生を生きる」というコンセプトを表現しました。

サイト



ホームページもリニューアル! 裏表紙のQRコードから、ぜひご覧ください!

Highlight 3

『小学生の放課後well-beingレポート』を作りました!

子どもたちの放課後を共に考えていく仲間を増やすために、地域の子どもたち100人以上の声を集め、『小学生の放課後well-beingレポート』を作成しました。クラウドファンディングで多くのみなさまからのご支援が集まり、発行することができました。日本全国の支援者のみなさんや、放課後研究者の方にお配りしました!



特集 学生チームの躍進

学生チームの事業紹介

2023年度、CFA学生チームは多くの子どもたちと関わり、地域との繋がりを深め、大きく活動の幅を広げました。そんな彼らの取り組みを紹介していきます！

CFAKids ボランティア

CFAKidsの子どもたちが学生との関わりを通じて多様な価値観や世界に触れられるよう、日々活動をしています。通称ファミメン(ファミリーメンバーの略)は、子どもたちと一緒に走り回って遊び、ケンカがあったら話し合うなど全力で関わるだけでなく、毎日オンラインでその日の子どもたちとの関わりについて振り返り会を実施しています。現在60人のファミメンが在籍しており、今後は、学生主体で遠足やキャンプなど子どもたちがワクワクする企画作りに挑戦していきます！



irodori

駄菓子屋irodoriは駄菓子屋×子どもの居場所をコンセプトに、学生ボランティアが毎日運営しています。ボランティアメンバーは総勢70人！足立区の商店街に佇む駄菓子屋irodoriは、

2023年度は年間で11,000人の子どもたちが訪れ、日々子どもたちの笑い声で賑わっていました。今後は店舗リニューアルを計画中です。さらに広々としたフリースペースを備えた、子どもたちにとってより過ごしやすい居場所をつくっていきます。



パークリーダー

パークリーダー事業とは、学生ボランティアが公園で子どもたちを見守り、子どもたちと思いっきりあそぶという事業です。「遊ぶ友達がいない」「子どもだけで遊ばせるのは危険」という声をきっかけに、2023年11月に立ち上がりました。現在メンバーは13人、週2日活動しています。子どもたちが公園で思いっきり遊ぶことのできる地域を目指して日々、公園を駆け回っています。



hidamari

感情図書館hidamariは、本を感情で分類することで子どもたちと本の出会いを促進し、すべての子が自分にあった本に出会える社会を目指す事業です。2023年12月にクラウドファンディングを行い、270万円の目標金額を達成！2024年2月に1号館がオープンし、蔵書数も増えて新たな本と出会う子どもたちの姿も見られるようになりました。「本を通じて、新しい自分や世界と出会い、明日へちょっぴりワクワクできる」を日本中で実現します！



特集 学生チームの躍進

学生チームで輝く「ひと」

ゆか
(学生代表)



りな
(学生副代表)



Interview

学生チームで活躍する「ゆか&りな」の想い

● CFA学生チームに入ったきっかけと原体験について教えてください。

ゆか: 子どもの頃、よく「完璧だね」と言われていたため、常に完璧を目指していました。いつの間にか、他者評価が自己評価になっていたような感じで。高校生の時に通っていた塾で「君はどのようなことを学びたいの?」と聞かれ、自分の考えがないことに気づきました。その後、心理学という自分のやりたいことを見つけることができ、本当によかったと思います。大学に合格して時間ができたのでボランティアを探していたところ、駄菓子屋irodoriの活動に出会いました。

りな: 私はゆかちゃんとは対照的で、幼稚園の頃から毎日先生に怒られていて、小学校でも周りに合わせられないタイプの子でした。でも小学校高学年から急に勉強ができるようになり、周囲の目が変わりました。それ以降、教育について疑問を持つようになったんです。CFA学生チームには大学1年の夏、ボランティア募集サイトで駄菓子屋irodoriを見つけ、参加しました。

● 実際に活動を始めてみてどう感じましたか?

ゆか: 活動当初はコロナ禍だったためリモートでirodoriの広報活動を担当していました。これまでの自分は一人で頑張るタイプでしたが、CFAでは素敵な先輩たちがたくさんいて、新鮮なやりがいを感じました！

りな: 現場に初めて入った時、「こんなに優しい人たちがいるんだ!」と感激しました。中高時代の固定化された人間関係に少し嫌気がさしていたので、CFAの温かい雰囲気に救われました。

● 活動していて楽しい瞬間はどんな時ですか?

ゆか: 深夜のミーティングで盛り上がる時が楽しいです! 特に、話が哲学的な方向に進んでいき、「幸せとは何か」といった深い議論をする時が面白いです。結局、「CFAの理念には全てが集約されているよね」という結論に達することもあります。

● 今後の抱負について教えてください。

ゆか: 広報のリーダーを務め、気がつけばCFAの活動に没頭し、学生チーム代表になりました。チームの仲間がいるからこそ挑戦できると感じています。「誰もが挑戦できる社会」をつくりたいと思います。

りな: 「教育って人を幸せにするの?」という疑問はずっと持ち続けています。だからこそ、CFAが掲げる「幸福なくして教育なし」という言葉は、自分の心に深く刺さるんです。自分と同じような境遇の子たちにも、やりたいことを見つけて幸せに生きてほしいと思っています。

Interview

CFA学生チームの成長を支える職員「はるちゃん」の挑戦

● 学生チーム担当職員として、どのような役割を務めていますか?

学生チームの活動が「CFAらしい」活動になっているか、子どもたちのため、誰もがしあわせに生きていける社会のための活動になっているか、常に確認し続ける役割です。学生たちがCFAのビジョンや想いを理解して活動できるようにサポートしています。

● どんな瞬間にやりがいを感じますか?

例えば、とある学生メンバーがお祭りのリーダーを初めて担当した時に、最初は何も分からない状態だったところから何十人ものメンバーの力を借りて準備を進め、時にぶつかったり悩んだりしながら、なんとか成功にこぎつけました。お祭り後のふりかえりで「最初は絶対無理だと思ったけど、お祭りに来てくれた子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができ、本当にやってよかったと思っています」と涙ながらに語る姿を見て、私も思わず一緒に泣いてしまいました。そういう学生たちの成長した瞬間、一皮剥け

た瞬間は、何ものにも代えがたい喜びを感じます。また、学生たちの活動が地域のみなさんに認めて頂いて「学生たち頑張ってるね!!」「若者がたくさん来てくれて嬉しいよ」「昔の活気のある街が戻ってきたみたい」と言ってもらった時は自分のことのように嬉しいです。

● 学生チームの未来へ向けて一言!

学生たちの「社会をより良くしたい」「挑戦してみたい」というパワーがあるからこそ、CFAはビジョンに近づけていると思っています!彼らが試行錯誤しながら成長していく姿をこれからも見守っていきます。

2020年度にCFAKidsの学童職員として入職。2023年度からCFA学生チームのマネジメントを担当している。学生チームの活動に伴走し、悩みに寄り添いながら、数々の事業をサポートしている。

はるちゃん
(廣瀬陽香)



数字で振り返るCFAの1年

CFAKidsで 子どもたちが過ごした時間

約 **1,700**h/人

1年間で換算すると、「放課後」ってこんなにも長い時間。この時間の中で、子どもたちは遊び、学び、多様な体験を通して大きく成長してきました!

新聞紙ドームを作ったよ!



みんなで楽しむカレーの会!



CFAKidsの 保護者面談の回数

579回
(289時間)

わたしたちは、子どもたちの今と将来の幸せのことを保護者のみなさんと一緒に考えていく存在でありたいと考えています。そして、「体験が人を育てる」という言葉を大切に、キャンプなど数多くの体験プログラムを実施しています。

雪で遊んだ冬キャンプ!



ツリーハウスを作った秋キャンプ!



子どもたちが自分たちで企画したドッチボール大会!



複本農園での季節ごとの野菜収穫体験!



「あそび大学」に来た子どもの人数

2758人

墨田区にある千葉大学キャンパスで毎月開催している無料のあそび場「あそび大学」。墨田の町工場から素材をいただき、子どもたちのあそびに活用しています!



CFAが主催した お祭り

5回
(参加人数5369人)

2023年度はCFAKidsの各校舎が地域のお祭りに出店したり、CFA学生チームがお祭りを主催したことで、たくさんのお祭りを実施することができました!



日本一周で作った あそび場の数

17箇所

代表の中山が、SSKすーさんと共に、北海道から九州まで日本を旅して、全国の子どもたちに「あそび」を届けました!



2023年度決算報告



(単位:円)

科目	金額
1. 受取寄附金	
受取寄附金	9,077,188
2. 受取助成金等	
受取民間助成金	5,119,391
3. その他収益	
売上高	1,257,173
売上戻り高	-6,703
保育料収入	136,327,163
経常収益計	151,774,212
1. 事業費	
(1) 人件費	
給料手当	66,246,260
法定福利費	22,228,345
人件費計	88,474,605
(2) その他経費	
その他経費計	60,722,040
事業費計	149,196,645
経常費用計	149,196,645
当期経常増減額	2,577,567
税引前当期正味財産増減額	2,577,567
法人税、住民税及び事業税	2,350,668
当期正味財産増減額	226,899
前期繰越正味財産額	-14,361,065
次期繰越正味財産額	-14,134,166

決算の詳細はCFAのホームページよりご確認ください。

2024年度からスタートして挑戦

＼ 平時も被災時もおそび場を! ／

CFAでは今年度から、平時も被災時も、日本中の子どもたちにあそび場を届ける事業をスタートさせました。災害時緊急子ども支援チーム「J-CST(ジェイキャスト)」の設立を目指し、能登半島地震の被災地であそび場づくり活動を実施しています。移動式あそび場「プレイカー」を用いて、仮設住宅や児童クラブなどを飛び回っています!



＼ 学童保育をより良い場に! ／

東京都で学童保育を運営する事業者が集まって「子どもたちの放課後」をよりよくしていくために「東京都学童保育協会」を設立し、代表の中山が副会長に就任しました。待機児童問題のみならず「学童保育の質」の向上を目指して、認証学童制度等の政策提言を行なっています。学童保育を、子どもたちが自分のやりたいことに挑戦し、仲間と過ごす中で「楽しい!」「行きたい!」と思えるような場所にしていきたいと考えています。



寄付のご案内

CFAKidsでは、経済的に困難な家庭の子どもたちが保育料、イベント代、食事代など全て無料で通える仕組み「CFA奨学制度」を実施しています。また、CFAの事業全体へのご寄付も受け付けています。あなたに合った方法で、ぜひご参加ください。



CFAの事業全体に寄付する
(お好きな金額で寄付いただけます)



CFA奨学制度に寄付する
(マンスリーサポーター)



生まれ育った家庭や環境に関わらず、
だれもがしあわせに生きていける社会の実現



特定非営利活動法人 Chance For All

〒123-0852 東京都足立区関原3-15-4

mail: info@chance-for-all.org

HP: chance-for-all.org

公式HP & SNS



HP



X



Instagram



Facebook

この年次報告書のデザインは、インクデザイン株式会社様にご担当いただきました。
今年度もステキなデザインを、ありがとうございました。